

令和5年3月1日

保護者 様

川西市立久代小学校
校長 石原 環

学校教育についてのアンケート結果について（お知らせ）

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

さて、今年度ご協力いただきました「学校教育についてのアンケート」の集計結果、ならびに結果分析（学校としての結果のとらえ方）をお知らせいたします。

なお、「アンケート結果のまとめ」は、学校評議員の皆様にもご協議いただき、学校関係者評価として「まとめ」に反映させています。

今年度のアンケートによる本校の現状と課題をお伝えするとともに、皆様からいただいたご意見やご助言を今後の教育活動に活かし、本校教育の充実に努めてまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

【アンケート結果のまとめ】

- 学校評価の回収率は、今年度77%で、前年度より5%上がりました。来年度におきましても、より多くの保護者の皆様のご協力をいただけますよう、努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。
- 学校の経営目標につながる「お子様が楽しんで学校に行っているか」の項目は、肯定的な評価をいただいています。また、児童のアンケートにも「学校を楽しんでいる」と考えている児童は多くいます。今後とも安心して楽しく過ごせる学校の環境づくりに努めていきたいと考えています。
- 「お子様は学習容がわかっているか」という項目の評価は昨年度同様に肯定的な評価をいただいています。児童アンケートにおいても「学校の勉強はよくわかる」「授業中、一生懸命がんばっている」という肯定的な意見が多くみられました。しかし、10%弱の児童が「わかりにくい」と回答しています。今後も個に応じた指導を推進し、すべての児童がわかる喜びを実感できる授業づくりを目指していきたいと考えています。
- 保護者の方には「体力づくり」「食育」「安全教育」「生活指導」などについては、どの項目も昨年度を1%上回る肯定的な評価をいただいています。しかし、児童の自己評価では「体力づくり」については課題が見受けられます。コロナ禍の生活が続き、外で体を動か

す活動に興味の薄い児童が体育の時間以外で「体力づくり」をする機会が減少していることに要因があると考えられます。コロナについての考え方も変わろうとしています。必要な対策は講じつつ、委員会の企画や特別活動等で体力づくりの場を適宜増やす工夫を行っていきたいと考えます。

○「お子様のことで学校に相談できているか」の項目が昨年より1%低下しています。これは、参観の中止等で学校の様子を伝える機会が減ったためと考えられます。保護者の思いが出しやすい雰囲気づくりに努め、保護者の意見を聞く場を意識的に設定する必要性を感じています。またHP、お便りなどで情報共有にも努めていきたいと考えています。

○「お子様は困ったときに教師に相談できているか」の項目については昨年度より5%上回った評価を頂きましたが、引き続き課題のある項目として捉えています。普段より子どもと教師の親密な相談体制を作り、一人ひとりの子どもに寄り添った指導を意識していきたいと思います。

○「地域との協同による教育活動」については前年度より2%減少しています。日頃より、学校安全協力員・青少年補導委員・地域・保護者の皆様のあたたかい励ましや見守りに支えられています。今年度もPTAのあり方やボランティア募集等々、地域や保護者の皆様方との協同的な教育活動について模索してまいりました。令和6年度から川西市において全校でコミュニティースクールが実施されます。その情報発信も含めて、より地域や保護者の皆様と連携を密にして、「地域とともにある学校」をつくっていきたいと考えます。

○児童アンケートでは、「同じ学年ではない友だちとも遊んだりふれあったりしていますか。」の評価が昨年度に比べて9%上回っていました。今年度は、学年途中からではありますが、縦割り掃除を実施したり、6年生が1年生のタブレット学習の支援に行ったりと、少しずつ異学年交流が実施できました。今後も異学年交流の機会を大切にしていきたいと考えます。

○児童アンケートで「チャイム席ができている」について、昨年度に比べると5%減少しており、全体パーセンテージからも課題があると考えます。「何のために」という目的の認識を明確にし、子どもたちの自主的な行動につながるよう指導していきたいと考えます。

以上顕著な傾向について記述いたしました。細かい点については全教職員で検証しながら共通理解を図り、今後の教育活動に活かしていく所存です。